

2016年 (平成28年) 2月29日 (月曜日)

生徒の「古里鍋」好評

花巻・石鳥谷「N-1グランプリ」

花北青雲高が初参加

酒粕や
雑穀活用

研究1年、無料提供



「青雲鍋Thanks」を無料提供しN-1グランプリを盛り上げた花北青雲高生

花巻市石鳥谷町の酒蔵まつり冬の陣まつり「N-1グランプリ」(石鳥谷中央通り商店街振興会など主催)は28日、同市石鳥谷町好地のビバハウスいしどりやで開かれた。地元の花北青雲高(小原和雄校長、生徒491人)が初参加し「青雲鍋Thanks(サンクス)」を無料提供。地産地消の研究成果を生かした味で鍋の祭典を熱く盛り上げた。

7回目となるイベントには市内外の飲食店など計17団体が参加。同校は総合生活科家庭クラブ研究班の2年生7人で準備。ナンバーワンを競うグランプリにはエントリーせず、同日は生徒4人が訪れ地域貢献として無料で振る舞った。

青雲鍋は酒粕(サケ)を使い、具材の鶏団子のつなぎに同市が生産日本一を誇る雑穀ヒエを練り込んだ逸品。キビともち米の団子も加え食感が楽しめる鍋に仕上げた。1年間にわたり研究を重ねた味は好評で、1時間足らずで用意した150杯がなされた。

佐藤のすかさんは「お客さんに『おいしい』と声を掛けてもらっている感じがよかった」と喜びをこみしめた。

会場ではホルモン鍋や白金餃子、まぐろの刺身など多彩な鍋料理が1杯100、400円で提供され、来場者は何杯も購入し食べ比べを楽しんだ。

投票で決まるグランプリには夢家(花巻市)の「牛スジ鍋」が輝いた。スタッフの水谷早苗さん(35)は「1週間前から煮込んで時間と愛情をたっぷりかけてきた。初優勝できてうれしい」と話していた。

くまのた